

大げやき

第 11 号

3. 1. 8

文責:校長

●1月のめあて

楽しく安全な学校生活をしよう

十五日間の冬休みを終え、久しぶりに子ども達とあいさつを交わし、嬉しく思います。コロナ感染が拡大していますが、冬休み中に大きな病気やケガなく過ごせたことを、保護者の皆様とともに喜び合いたいと思います。さて、三学期は、今年度の総仕上げとなる大切な時期です。感染防止を図り、教職員全員で行っていきます。本年も宜しくお願いします。



清野太雅さんの姿勢から学ぶ



三学期の始業式で話した内容の一部を紹介いたします。冬休み中にとっても嬉しい出来事がありました。ここ松山小の卒業生である、清野太雅さんが、日本中の人が注目する箱根駅伝で大活躍してくれました。清野さんの粘り強い走り、チームは目標の三位に入り、途中で抜かれた清野さんは、「先輩たちのためにも四位で終わるわけにはいかない」と前を行く選手を必死に追いかけて、最後にまた逆転するという、気持ちのこもった走り、多くの人々を感動させてくれました。

清野さんは、松山小のマラソン大会で出した一年、五年、六年の記録が、今も残っています。喜多方第二中学校や喜多方高校でも、県ではとても速かったです。(佐藤教頭先生は、喜多方二中在職中に、駅伝顧問として清野選手を指導し、一緒に走っていたそうです。)そして、去年は、東洋大一年生となり、期待はされています。清野さんは、記録が伸びず選手として走ることができませんでしたが、そこで、強い選手になるために、食事や練習方法を一から考え直して、一年間続けたそうです。清野さんのこの姿勢から、大切なことが分かります。一つ目は、夢や目標を具体的に立てることです。その時、どうすれば実現できるかを自分の頭で、しっかりと考えることが必要です。二つ目は、根気強く続ける

ゲームと上手に遊んでいますか

十一月十七日に本校の小島先生から、子どもたちにゲームリテラシーの学習を行いました。保護者も二十名程度の参加がありました。ゲームリテラシーとは、テレビゲームを上手に活用する能力のことです。インターネットが普及し、世界中の人々とオンラインでゲームを楽しむ時代となり、ゲームはとも魅力的な遊びとなりました。本校の九割の児童がゲーム機を持っており、日常的に利用しています。では、私たちは、急激に発達した最新のゲームの問題点をよく知って子ども達に与えているでしょうか。また、子ども達は、与えられたゲームの注意をよく知らずに楽しんでいるのではないのでしょうか。正しく理解し、ゲームに依存する生活にならないように、注意しなればなりません。これは、私たち大人の役割です。実際、県内の小・中学生が、多額の課金を支払うことになったり、知らない人と会い、被害に遭ったりしています。県小・中学校長の調査からも、週末に三時間以上、ゲームやインターネットで遊ぶ児童が約二十五%に上り、今年は特に長時間化していることが分かりました。生活習慣も乱れ、睡眠不足、学習意欲の低下、体力低下、依存傾向による暴言・暴



傾向による暴言・暴

新しい英語の先生の紹介



外国人の英語講師のダコタ先生の後任として、ケイシー・ギオン先生が十二月二十一日に着任されました。アメリカのカリフォルニア出身で、広島にお父さんの仕事の関係で、幼少期に四年間住んでいたそうです。子ども達に会えることを楽しみにしています。授業中も積極的に話しかけていました。頼もしく感じています。喜一小、上三宮小にも勤務されます。

一月の主な行事予定

●第三学期始業式

八日(金)

◎成人の日のためお休み

十一日(月)

●集金日・発育測定(上学年)

十二日(火)

●鼓笛の日・発育測定(下学年)

十三日(水)

●職員会議(特別時程)

十八日(月)

●教員研修日(短縮時程)

二十二日(金)

●民俗資料館見学(三年)

二十六日(火)

●木之本漆器店体験学習(四年)

二十七日(水)

●租税教室(六年)

二十九日(金)

●児童集会 縄跳び集会